

# Sumitomo Dental Clinic News Letter 2019年3月号

堺市北区蔵前町3-2-8 サンロード蔵前104

☎072-250-3117

住友歯科医院

検索🔍



こんにちは！住友歯科医院 院長の住友 敏彦です。  
3月の花と言えば、沈丁花。桜が目楽しむ花だとすれば、  
沈丁花は正しく香りを楽しむところに価値あり。  
その優雅な香りが、春風に乗って届けられる季節となりました。  
大切なみなさんのお口の管理は私どもにどうぞお任せください。

## ■ ごあいさつ

住友歯科医院にお通いくださる皆さま、こんにちは！歯科助手の岸田真依です。

街角のケーキ屋さんで、イチゴを使った商品が可愛らしい姿を競っているのを見ると、華やかな春の訪れを感じます。何かが始まる期待に胸躍らせながら、そんなケーキをお土産に、久しぶりに友だちのお家に行こうかなと思立ちました。

さる2月10日と11日。大切な友だちと1泊2日の東京ディズニーランド&シーへ旅行へ行ってきましたので、そのとき感じたことをお話ししたいと思います。



## ■ 私にとっては修学旅行

いざディズニーランドに行ってみて感心するのは、接客の質の高さです。学生時代には気にしなかったことが、実際に社会人になってみて意識するようになりました。

近年、人手不足や企業の人件費削減策により、接客の質が低下していると言われるようになりました。学生時代に接客のアルバイト経験のある友人が話していたのですが、正しい接客の仕方や礼儀作法について理解の無いまま接客の場に立たされているのが現状なのだそうです。

当医院では、院長はじめ先輩スタッフが、新人に対し親身になって指導してくれますし、お通いくださる患者様から頂戴するお言葉が、何よりの励みになっております。

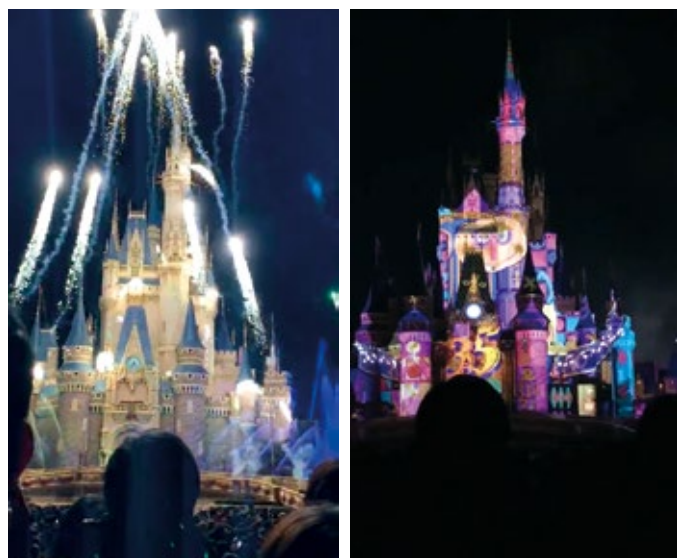
住友歯科医院 岸田 真依



## ■ 親友と卒業旅行

今回一緒に行ったのは、高校時代からの親友。「旅友」でもあります。これまでもいろんな所に二人で行きました。ここ最近はお互い忙しく、旅行自体は約3年ぶり。

この春に大学を卒業し、4月から新社会人の彼女。「おめでとう」って言う思いと、いつも遊ぶ時は一足お先に社会人になった私のお休みに合わせてくれていたんですが、彼女自身も働きだしたら、あまり遊んだり旅行にも行けないよね、という事で、卒業旅行も兼ねて楽しんできました。





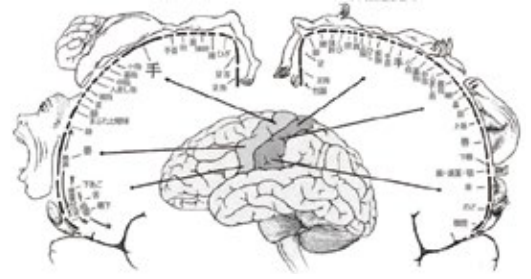
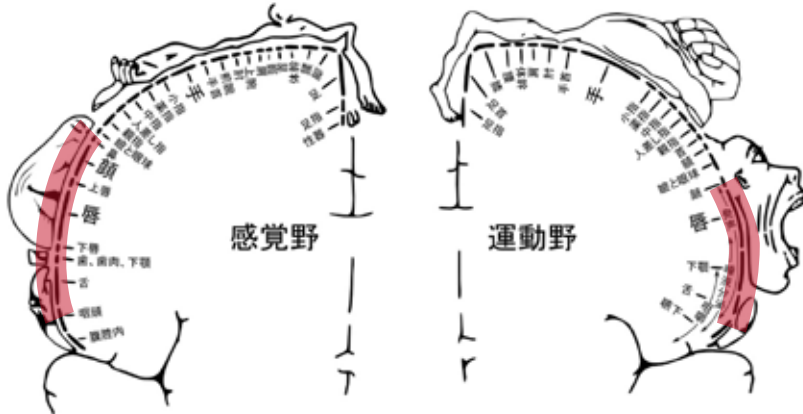


住友院長のおもしろこぼればなし

# Hot Break Times



## 住友歯科医院 Topics 人の命は口に始まり歯で終わる？



※「ホムンクルス図」は、脳を正面から見たときの前頭葉（一次運動野）と頭頂葉（一次体性感覚野）それぞれの断面を並べてある。

### 脳と口の関係

これは「ホムンクルス図」という、医歯学生が生理学の授業で必ず目にする図です。

脳の中で動作を司る「運動野」と、感覚を司る「感覚野」を表しています。脳が体のどの部分と密接に繋がっているのかを示しています。

これを見ると、表面積は体の10分の1以下しかない口が、脳の中では運動野も感覚野も3分の1を占めています。口とつながっている顔まで含めると約半分も占めているのです。

これほど広い範囲を「口」が占めているのは、人の命が「口に始まり、歯で終わる」からといえます。

生きていくために絶対になくってはならない器官だからこそ、脳内の口の領域がここまで広がったのです。

### 脳が健康な人と歯の本数の関係

東北大学大学院の研究グループが70歳以上の高齢者を対象に行った調査によると、「脳が健康な人」の歯の本数は平

均14.9本でしたが、「認知症の疑い有り」と診断された人の歯の本数は、たったの9.4本でした。

つまり、残っている歯が少ない人ほど認知症になりやすいことが明らかになったのです。

### 歯の仕組み

歯は顎の骨に刺さっているように思うかもしれませんが、歯茎の中には「歯根膜」というクッションのような器官によって顎の骨とくっついています。咬む時にはクッションが沈み、歯根膜にある血管が圧縮されてポンプのように血液を脳に送り込みます。その量は、ひと咬みで3.5mlです。お弁当のお醤油の容器の量に相当します。

食事の時には何百回と咬むわけですから、よく咬める人の脳にはどんどんと血液が送り込まれて脳が活性化し、元気に若返るのです。

ご自分の歯を大切に、健康でいることが脳の健康・若返りに直結すると言っても過言ではありません。

## 思い出写真館とめぐる Dr.Toshihiko's Essay 「弟」

3月6日は「弟の日」。これは兄弟姉妹型の研究で知られる漫画家の畑田国男(はただくに)氏が、1992(平成4)年に提唱しました。

兄弟姉妹型は「きょうだい型」ともよばれ、基本的なコンセプトは「人の性格・行動パターンは生まれ順で左右される」というもの。ざっくり言ってしまうと「体系的にまとめられた性格占い」といったところでしょうか。

長子は第1子ということで親から大きな期待をかけられて育ちます。親の方もはじめての子育てということで、加減がわからず甘やかし、もしくは厳しくといった極端な育て方をしがち。さらに、一人っ子時代は過干渉だけど、次の子が生まれると突然自由の身。このような成長過程をたどるため、長子はまじめで保守的、さらに正直。でも要領が悪く、慎重で責任感の強い大人に成長するそうです。

対して末子は自己表現が強いようです。最後に生まれるため家族の愛情を一身に受け、自己中心的な性格になりやすいんだとか。やりたいことしかやらない性格のため、それが長じてオンリーワンの才能を開花させることもしばしば。常にライバルとして兄・姉がいるため負けん気が強く、スポーツ選手で大成しているのは弟や妹が多いという統計もなんとなく納得です。

海外ドラマ「クリミナル・マインド」劇中でこんなセリフがありました。「兄弟は支え合うだけの存在ではない。大なり小なり、お互いを作り上げているのだ。」兄あつての弟。弟がいるからこそこの兄であります。

